



平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 内外トランスライン株式会社

コード番号 9384 URL <http://www.ntl-naigai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 戸田 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長

(氏名) 三根 英樹

TEL 06-6260-4800

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	8,368	33.6	733	89.8	746	37.4	455	54.7
21年12月期第3四半期	6,265	—	386	—	543	—	294	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	186.32	177.73
21年12月期第3四半期	120.47	116.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	5,521	4,431	79.7	1,800.04
21年12月期	5,220	4,206	80.0	1,708.70

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 4,401百万円 21年12月期 4,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
22年12月期	—	20.00	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

(注) 22年12月期期末配当予想30円のうち10円は、当社創立30周年記念配当であります。

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	30.5	1,025	61.2	1,038	28.4	624	57.5	255.16

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年12月期3Q 2,445,500株 21年12月期 2,445,500株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 60株 21年12月期 一株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年12月期3Q 2,445,488株 21年12月期3Q 2,445,500株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期 決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(5) セグメント情報.....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、上半期においては、各国とも大規模景気刺激策等によりめざましい景気回復を示しましたが、下半期に入りその回復傾向が減速し、牽引役であった中国、アジア諸国においても、拡大の勢いは鈍化しております。

当社グループ業界におきましても、このような傾向を反映して下半期において荷動きはやや鈍り、さらに円高が進行し輸出が減少するなど、上半期とは様相が異なり業界を取り巻く環境は非常に厳しいものとなってまいりました。

このような状況の下当社グループは、引き続き、首都圏・中部圏の営業力強化と、輸入ビジネスの強化とを営業戦略の柱として業績向上に努めてまいりました。特に、首都圏営業につきましては、当期より営業組織を大幅に強化し、首都圏における販売シェアの拡大に注力いたしております。

この結果、第3四半期連結累計期間における売上高は8,368百万円（前年同四半期比33.6%増）、営業利益は733百万円（同89.8%増）、経常利益は746百万円（同37.4%増）、四半期純利益は455百万円（同54.7%増）と増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,521百万円（前連結会計年度末比301百万円増加）となりました。増加の主なものは、現金及び預金160百万円、有価証券101百万円等であります。

負債は1,090百万円（同76百万円増加）となりました。これは主に、未払法人税等の増加70百万円等によるものであります。

また、純資産は4,431百万円（同224百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金の増加308百万円及び為替換算調整勘定の減少82百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、3,023百万円（前年同四半期比664百万円増加）となりました。その概要は以下のとおりであります。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、398百万円（前年同四半期比200百万円増加）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益750百万円及び減価償却費49百万円の計上による増加と法人税等の支出236百万円及びその他の資産の増加127百万円による減少等であります。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、15百万円（同65百万円増加）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産及び無形固定資産の取得によるものであります。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、140百万円（同20百万円増加）となりました。これは配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、各国景気刺激策の一巡等によりその回復傾向の鈍化が明確になっております。当社グループにおきましても、円高による輸出貨物の減少や、運賃の値上げ等からくる原価の上昇により収益が圧迫されるきびしい状況にはありますが、7月30日に公表しました通期連結業績予想の修正は行っておりません。

当連結会計年度（平成22年12月期）の業績見通しにつきましては、連結売上高11,400百万円、連結営業利益1,025百万円、連結経常利益1,038百万円、連結当期純利益624百万円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

平成22年7月6日の取締役会において、米国ニューヨーク州に本拠を置く国際海上輸送会社、Cargo One Inc. (資本金115千米ドル)の全株式を買収、子会社化することを決議し、平成22年7月7日に同社と株式売買契約を締結しております。

なお、当第3四半期連結累計期間末において、上記買収手続きは完了していません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,023,222	2,862,438
売掛金	412,963	374,485
有価証券	399,843	298,606
その他	284,436	137,370
貸倒引当金	△703	△740
流動資産合計	4,119,761	3,672,161
固定資産		
有形固定資産	420,098	447,193
無形固定資産	88,971	104,173
投資その他の資産		
その他	922,594	1,026,460
貸倒引当金	△29,610	△29,610
投資その他の資産合計	892,984	996,850
固定資産合計	1,402,054	1,548,217
資産合計	5,521,815	5,220,378
負債の部		
流動負債		
買掛金	522,676	503,060
未払法人税等	199,252	129,131
賞与引当金	61,734	—
その他	153,406	232,936
流動負債合計	937,070	865,129
固定負債		
退職給付引当金	71,214	66,525
その他	82,375	82,424
固定負債合計	153,589	148,950
負債合計	1,090,660	1,014,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,511	156,511
資本剰余金	146,511	146,511
利益剰余金	4,322,924	4,014,007
自己株式	△102	—
株主資本合計	4,625,844	4,317,029
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△21,933	△19,111
為替換算調整勘定	△202,033	△119,297
評価・換算差額等合計	△223,967	△138,408
新株予約権	7,682	7,682
少数株主持分	21,595	19,996
純資産合計	4,431,155	4,206,299
負債純資産合計	5,521,815	5,220,378

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	6,265,137	8,368,943
売上原価	3,944,979	5,660,911
売上総利益	2,320,157	2,708,032
販売費及び一般管理費	1,933,472	1,974,111
営業利益	386,684	733,920
営業外収益		
受取利息	23,590	24,938
保険解約返戻金	121,924	1,780
不動産賃貸料	24,434	22,682
その他	10,022	6,652
営業外収益合計	179,971	56,053
営業外費用		
不動産賃貸費用	5,139	5,141
支払手数料	16,366	25,426
為替差損	—	11,730
その他	1,973	1,468
営業外費用合計	23,479	43,768
経常利益	543,177	746,205
特別利益		
投資有価証券売却益	3,500	—
施設利用会員権売却益	—	5,166
特別利益合計	3,500	5,166
特別損失		
固定資産除売却損	17,999	1,032
投資有価証券評価損	48,456	—
特別損失合計	66,456	1,032
税金等調整前四半期純利益	480,221	750,340
法人税、住民税及び事業税	204,111	308,646
法人税等調整額	△22,643	△15,631
法人税等合計	181,468	293,014
少数株主利益	4,151	1,677
四半期純利益	294,601	455,647

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,198,250	2,898,801
売上原価	1,389,715	1,989,160
売上総利益	808,535	909,640
販売費及び一般管理費	644,739	655,029
営業利益	163,795	254,611
営業外収益		
受取利息	8,411	7,926
保険解約返戻金	—	1,249
不動産賃貸料	8,201	7,532
その他	3,057	2,226
営業外収益合計	19,671	18,935
営業外費用		
不動産賃貸費用	1,706	1,708
支払手数料	13,173	14,117
為替差損	—	7,369
その他	1,111	179
営業外費用合計	15,990	23,374
経常利益	167,475	250,171
特別損失		
固定資産除売却損	9,711	3
投資有価証券評価損	7,440	—
特別損失合計	17,151	3
税金等調整前四半期純利益	150,324	250,167
法人税、住民税及び事業税	70,438	112,874
法人税等調整額	△16,496	△16,990
法人税等合計	53,942	95,884
少数株主利益	2,103	410
四半期純利益	94,278	153,873

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	480,221	750,340
減価償却費	34,173	49,112
販売促進引当金の増減(△は減少)	△25,065	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	69,110	62,161
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,614	6,071
受取利息及び受取配当金	△25,938	△27,398
為替差損益(△は益)	△3,196	7,503
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,500	—
投資有価証券評価損益(△は益)	48,456	—
固定資産除売却損益(△は益)	17,949	789
売上債権の増減額(△は増加)	30,044	△50,282
仕入債務の増減額(△は減少)	△80,930	28,751
未払費用の増減額(△は減少)	△32,857	△24,166
その他の資産の増減額(△は増加)	8,929	△127,678
その他の負債の増減額(△は減少)	△36,409	△58,972
その他	△1,927	707
小計	486,673	616,940
利息及び配当金の受取額	15,079	17,947
法人税等の支払額	△303,755	△236,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	197,998	398,380
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△494,020	△100,000
有価証券の売却及び償還による収入	700,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△22,561	△7,966
有形固定資産の売却による収入	54,686	330
投資有価証券の取得による支出	△292,506	—
投資有価証券の売却による収入	63,901	—
貸付金の回収による収入	540	540
無形固定資産の取得による支出	△22,260	△2,919
その他	62,758	△5,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	50,539	△15,311
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△97,820	△140,407
その他	△22,536	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,356	△140,509
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,016	△81,776
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	135,197	160,783
現金及び現金同等物の期首残高	2,223,028	2,862,438
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,358,225	3,023,222

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

当社及び連結子会社の事業は、国際貨物輸送事業並びにこれらの附帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (千円)	アジア地域 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	4,919,266	1,308,382	37,488	6,265,137	—	6,265,137
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	130,984	260,644	72,025	463,653	(463,653)	—
計	5,050,250	1,569,026	109,513	6,728,790	(463,653)	6,265,137
営業利益又は営業損失(△)	245,899	153,400	△12,614	386,684	—	386,684

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア地域……シンガポール、韓国、中国、インドネシア、タイ、香港

(2) その他の地域……アメリカ

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	日本 (千円)	アジア地域 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	6,623,990	1,665,069	79,883	8,368,943	—	8,368,943
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	154,518	268,550	75,044	498,113	(498,113)	—
計	6,778,509	1,933,620	154,927	8,867,057	(498,113)	8,368,943
営業利益又は営業損失(△)	515,980	218,083	△143	733,920	—	733,920

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア地域……シンガポール、韓国、中国、インドネシア、タイ、香港

(2) その他の地域……アメリカ

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）

	アジア地域	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	1,355,043	165,071	1,520,115
II 連結売上高（千円）	—	—	6,265,137
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	21.6	2.6	24.3

（注）1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア地域 …………… シンガポール、韓国、中国、インドネシア、タイ、香港等アジア（中東地域を含む）

(2) その他の地域 …………… アメリカ、ヨーロッパその他地域

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	アジア地域	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	1,709,115	282,356	1,991,471
II 連結売上高（千円）	—	—	8,368,943
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	20.4	3.4	23.8

（注）1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア地域 …………… シンガポール、韓国、中国、インドネシア、タイ、香港等アジア（中東地域を含む）

(2) その他の地域 …………… アメリカ、ヨーロッパその他地域

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。